

## 高松学習館運営協議会（令和6年11月）会議録概要

開催日時 令和6年11月14日（木曜日）午後6時30分～8時10分

開催場所 高松学習館 第1教室

出席者 [委員] 丸山あかね（立川市社会福祉協議会）

梅田茂之（自治会連合会栄町支部）

川合博（立川市高松児童館）

難波敦子（立川市生涯学習市民リーダーの会）

小原雅俊（たちかわ市民交流大学推進委員会）

栗原政子（学習館利用団体）

結城まり子（学習館利用団体）

戸井田宗二郎（公募市民）

欠席3名

[事務局] 榛澤尚武（高松学習館係長）、富田瑞代（会計年度職員）

定数の過半数の出席により会議成立とする。

### 議事

1. 会長あいさつ 今晚は。いろいろなイベントが続いている中でたかまつりも迫ってきている。感染症も流行っているので体調には気をつけていただきたい。

### 2. 報告事項

・事務局より下記について報告があった。

・ 寿教室合同芸能フェスティバル（10/23）について

会場はリスルホール。9寿教室の日頃の活動の成果を発表する場として隔年開催している。高松寿教室からは健康体操、気功、民謡の3種目で出演した。

A委員：皆で練習を頑張って舞台上で発表できた。座席も事前に割り振りスムーズだった。応援も来てくれて31名の参加だった。帰りが雨で大変だったが、とても楽しく参加できてよかった。

・ その他

市民憲章の看板の修理について業者に張り替えてもらうよう進めている。

B委員：費用はどの位かかるのか。

事務局：見積りは6万位だった。

### 3. 協議事項

(1) 前回議事録（案）について 承認された。

(2) 高松学習館の取り組みについて

・ 地域活性化事業について

今後実施する地域活性化事業と催物事業について事務局より説明と報告があった。11/16 たかまつり音楽会で応援可能な委員：梅田会長、難波副会長、栗原委員、結城委員（第1部は午前10時15分集合）

C委員：クリスマス映画会は電子申請と電話申込の両方で実施しているのか。

事務局：両方で受付している。

- ・ 新たな企画として 3/1(土)防災講座について事務局より説明があった。

C委員：ハザードマップは防災課が作成しているのか。

事務局：防災課が作成しており、今年度は内水のハザードマップを新たに作成する。

C委員：栄町の方では以前から内水氾濫の危険性について話が出ていた。

南部公園で灌水がすごい。

事務局：高松町も学習館周辺が危険とされている。周りより低い場所は一定以上の雨が降ると浸水する可能性が高い。

B委員：防災のテーマはオンラインでも広げて実施していくといいのではないかと思う。

C委員：市民全体に係ることなので今後ぜひ検討していただきたい。

- ・ 東京学芸大学との連携事業について

本日の会議にオンライン参加の学生より 11/23 たかまつり当日運営マニュアルについて説明があった。

- ・ 事務局：学生さん作成の当日運営マニュアル、パンフレットと PR ちらしを配布している。学生さんから説明いただきたい。

- ・ 学生：マニュアルの修正箇所は輪なげのルール変更、くるりんの追加をした。この場でご意見があればいただきたい。

C委員：会議では初見なので全体的に説明をお願いしたい。

学生：今回の企画のタイムテーブル、スタッフの配置を記載している。学習館の方で地運協委員さんの配置を決めていただいて不足する担当部署は学生ボランティアを充てる方向で考えている。各企画の詳細とスタッフの動きについてもまとめている。

C委員：各企画の内容等については前回会議までに話があった内容ということでもいいか。

学生：スタッフの動きを追加している。さらに各企画に必要な備品リストも入っている。当日の準備と各会場のレイアウトも載せている。

C委員：内容的には詳細に載せていただいているので問題はないと思われる。問題はスタッフの人数で学生さんの方ではあと何名必要か。

学生：あと 12 名位必要な状況。

事務局：講座の申込受付状況について報告する。広報 10/25 号に掲載し受付開始したが、申込はとても少ない。現在のところ、事前申込の楽器作り工作は 2 名ずつ、演劇ワークショップはまだ申込がない。事前申込不要の企画については当日来場数が読めない状況。盆踊りは問合せがあり、寿教室の会員さんも来てくれる予定。スタッフの人数に関わってくる。ちなみに第二小学校、第五小学校、南砂小学校の小学 1 年生～3 年生にちらしを配布している。高松町子ども会や栄町南部自治会子ども会にもお声がけをお願いした。

C委員：当日の縁日でどれだけ動員できるかというところ。お天気も

良さそう。演劇ワークショップは学生さん中心なので人が集まり次第、臨機応変に対応しながら実施することも可能であるか。

学生：対応したい。

C委員：改めて地運協委員と学習館で何人従事できるか、確認をしたい。

事務局：地運協委員8名：梅田会長、難波副会長、栗原委員、小原委員、結城委員(午前)、丸山委員(午後)、師岡委員(午後)、戸井田委員(午前) 学習館職員3名はスタッフとして参加可。

D委員：市民リーダー会より2名お手伝いに来てくれる。

C委員：自治連栄町支部より4名ボランティアで来ていただける。くるりん、くるりんのお付き、あと2名も一日大丈夫。

全部合わせると、12名になると思われるので何とか足りる。

学生：配置が必要な場所に割り振りができると思う。

C委員：スタッフの配置場所は今決めるか、当日にするか。

学生：具体的な割り振りについては学習館の職員さんにお願する方が適材適所となると思う。足りない部署に学生ボランティアを配置するようにしたい。

C委員：スタッフ配置の調整は当日になるのか。

学生：希望があれば伺っておいて来週のうち合わせで決定したい。

学習館と学生でメールのやりとりで調整という形ではどうか。

事務局：事務局案を作成し、学生さんの方に連絡をしたい。最終確認のために事務局で来週大学に伺い荷物運搬も予定している。

C委員：では、事務局と学生さんとで来週最終調整をしていただくということでお願いしたい。工作と盆踊りの担当者から何か気づいた点があれば発言いただきたい。

D委員：特に心配はない。

A委員：来場者が少ないかもしれないので、声かけをしている。大人には声かけをしている。

C委員：当日図書館に来る人は参加する可能性もあると思う。

事務局：午前中に準備をするが、役割分担について考えているか。

学生：学生の担当者は割り振っているが、誰がどちらを担当してもらうかは未定の状況。

C委員：担当は未定だが、やるべきことはピックアップされているので、事務局案に割り当てていけばいいと思う。来週のうち合わせまでにメールでやり取りして決定できるよう進めていただきたい。

D委員：昨年度までのたかまつりでは会場の装飾や看板など学生さんの方で制作していただいていたが、準備はできそうか。

学生：装飾や看板は順調に準備できているので当日取り付ける。

縁日のメダルも用意した。

事務局：くるりんの出番については2回ちらしに掲載されており、保育室も確保できている。

D委員：楽器づくりの工作に申し込んでいる人数が少ないので2つ同時に実施することはできないか。

学生：講師と相談してみないとわからないが、2種類を一緒にやるのはスタッフも大変かもしれないと思う。事前申込制なのは材料の準備によるもので、当日の参加人数が少なければ周りにいる人を巻き込んでもいいと思う。

C委員：来場者から見ると、工作の会場が2つあって申込制もフリーも関係ないのであまり心配することはないかもしれない。

それぞれの工作が始まる時間にアナウンスすればいいと思う。

C委員：心配なのは工作に人が集まり、読み聞かせの方に人が行かないことがないように、人を上手く回せるように流れをつくるといい。楽器作りの工作の時間は余裕を持っているのか。

学生：工作は子どもによってかかる時間が異なるかもしれない。

C委員：当日の来場者数によるので始まる時間も一斉というわけにはいかないかもしれない。

D委員：準備がしっかりできているので何とか対応できると思う。

C委員：学生の皆さんの努力が報われるようこちらも頑張りたい。

事務局：アンケートの案が作成できたら送っていただきたい。

学生：承知しました。

事務局：パンフレットのくるりんのイラストが切れている。イラストもぼやけて見えるので修正が必要。学習館からデータを送ることも可能。

C委員：確かにちらしのイラストも少し粗い感じがする。もっとクリアな感じがした。

事務局：くるりんのイラストデータを送る。パンフレットの印刷は何部必要か。カラーで印刷するのか。学習館だと2色刷りでいいか。

学生：3つ折りになる。100部なら大学でカラー印刷は可能。

事務局：そうしていただくとありがたい。

学生：パンフレットについて他に修正点があるか。

B委員：ちらしの会場の高松学習館の文字をもっと目立つように大きく分かりやすくした方がいいと思う。

C委員：ちらしは印刷済みなので来年度に向けての課題となる。現状では、大学の方で100部カラー印刷して3つ折りを学生さん達にお任せする。他に何かあれば事務局とやりとりして来週の最終うち合わせで解決していただくようお願いしたい。

では、当日23日は朝9時集合ということでよろしく願います。

### (3) その他

- ・ 次回の会議開催日程について：12月12日(木)午後6時30分～第1教室
  - ・ 生涯学習関係職員研修会の出席確認について：12月6日(金)午後1時30分～会場：錦学習館 出席：梅田委員、小原委員
- B委員：研修の内容について説明してほしい。

事務局：東京学芸大学で実施しているコミュニティ学習支援コーディネーター養成講座の中で各自の活動について情報交換をする。対象は地運協委員、市民リーダー、推進委員、職員となっている。

- ・ 高松児童館地域交流会の参加確認について【11/19(火)・11/20(水)】

E委員：児童館を体験していただく機会。11/19はスポーツの日で子ども達と一緒に卓球をしていただく。11/20は工作の日で勤労感謝の日なので一緒に「ありがとうコースター」づくりを体験していただく。児童館の紹介冊子を配布する。遊びに来る感じで来館いただきたい。グリーンサポート隊の活動、季節に合わせた工作も毎月実施している。短時間でも児童館を覗きに来ていただくだけでも構わない。

11/19参加：梅田会長

- ・ 地域福祉ウォッチャー調査への協力をお願い：3名の委員に依頼
- ・ 学校日より 第2中学校区の小中学校のおたよりを配布しているのでお読みいただきたい。
- ・ その他

B委員：以前の会議で話に出たが、空き教室の学習室としての活用について、他の学習館は実施している。そういう使い方はできないか。

事務局：以前は夏休み期間中に1つの教室を夏休み学習室として市民に開放していたと聞いている。ロビーを通年学習スペースとして開放したタイミングで空き教室の開放は行っていない。今後検討していきたい。

B委員：特に寒さ、暑さ厳しい時期には空き教室を常時開放していただくよう検討してほしい。

事務局：学習館によって運用の仕方が異なる。高松学習館は部屋数も少なくアイムや砂川学習館の閉館の影響も出ている。

B委員：部屋数とは関係なく空き部屋があれば活用してほしい。

C委員：第六次生涯学習推進計画の評価をしている。職員の有効活用について話題が出た。

B委員：高松学習館の建替えの計画についてはどのようになっているのか。延期されるのか。

事務局：特に延期という話は聞いていない。予定通りかどうかはまだわからない。

#### 4. 地域課題共有

- ・ F委員：社会福祉協議会で実施する事業のちらしを配布した。「いちにち図書館」では寄付された本の持ち帰りと飲食も可能でおしゃべりしながらの交流ができる。「ヒューマンライブラリー」では障がいに関わる事業者（ヘルプ協会たちかわ、NPO 法人ゆいまーる、ワークセンターまことくらぶ、NPO 法人トモニ）の方々が登壇される。

以上